

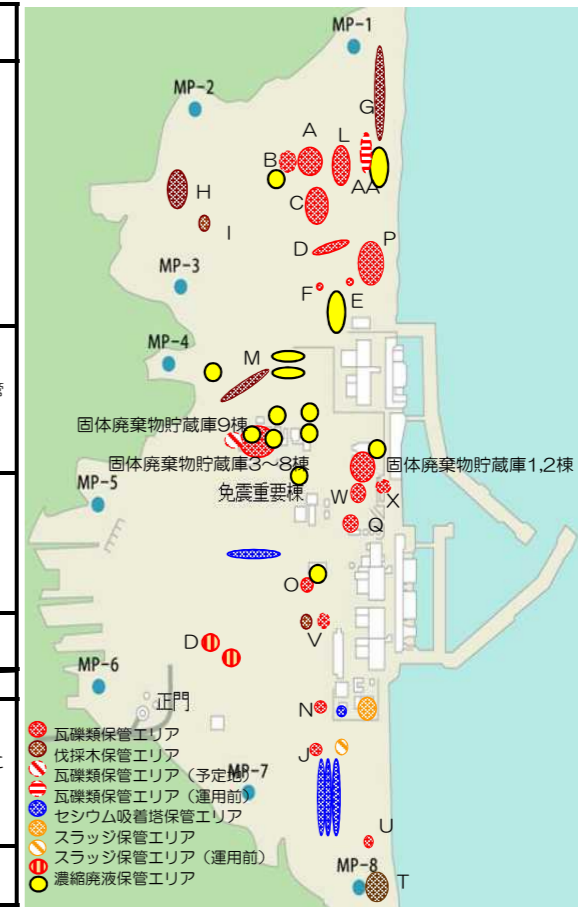
瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.6.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比 (2017.6.29)	変動理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} / 保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	2,800 m ³	0 m ³	—	85%	151700 / 214300 (71%)	・フランジタンク解体片 エリアP1にて一時保管中。(2015年6月15日~) 2017年6月末時点で413基(コンテナ)保管。
		C	屋外集積	0.01未満	56,100 m ³	+800 m ³	①②	89%		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
		J	屋外集積	0.01	4,300 m ³	0 m ³	—	53%		
		N	屋外集積	0.01	4,500 m ³	0 m ³	—	45%		
		O	屋外集積	0.01未満	32,800 m ³	+900 m ³	②③④	64%		
		P1	屋外集積	0.01	43,100 m ³	+600 m ³	①	67%		
	U	屋外集積	0.01未満	0 m ³	0 m ³	—	0%			
	V	屋外集積	0.01	1,800 m ³	微減	—	30%			
	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	28800 / 71000 (41%)	・エリアWは、車両解体(プレス等)及びエリア内配置整理により保管 量減。
		E1	シート養生	0.01	13,000 m ³	-200 m ³	①⑤	81%		
		P2	シート養生	0.01	5,500 m ³	0 m ³	—	62%		
		W	シート養生	0.05	5,800 m ³	-1,600 m ³	②	20%		
覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	21300 / 27700 (77%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。	
	A	仮設保管設備	0.24	2,600 m ³	+200 m ³	⑦	37%			
	E2	容器 ^{※4}	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19%			
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%			
Q	容器	0.09	5,700 m ³	0 m ³	—	93%				
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物 貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.02	8,700 m ³	+300 m ³	③⑧	73%	8700 / 12000 (73%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。	
合計(ガレキ)				210,500 m ³	+1,600 m ³	—	65%			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	22,700 m ³	+7,300 m ³	⑨⑩	57%	93900 / 144500 (65%)	・エリアGは、敷地造成工事関連で発生した伐採木(幹・根)の受入に より保管量増。
		I	屋外集積	-	0 m ³	0 m ³	—	0%		
		H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	-1,200 m ³	⑪	74%		
		M	屋外集積	0.01未満	39,500 m ³	微増	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	0 m ³	微増	—	0%			
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	13,000 m ³	+4,500 m ³	⑫	44%	24100 / 41600 (58%)	
T		伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%			
合計(伐採木)				118,000 m ³	+10,600 m ³	—	63%			
保護衣	屋外集積	容器	0.04	67,300 m ³	-600 m ³	⑬⑭	95%	67300 / 71200 (95%)	・2017年6月12日~雑固体焼却設備運転再開 ・使用済保護衣等焼却量 1684t(2017年6月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 288本(2017年6月末累積)	
				合計(使用済保護衣等)				67,300 m ³	-600 m ³	—
仮設 瓦礫類	U(仮設分)	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—			・タンク設置スペース確保に伴い、エリアUより持込み。	
				合計(仮設運用エリア)				700 m ³		0 m ³

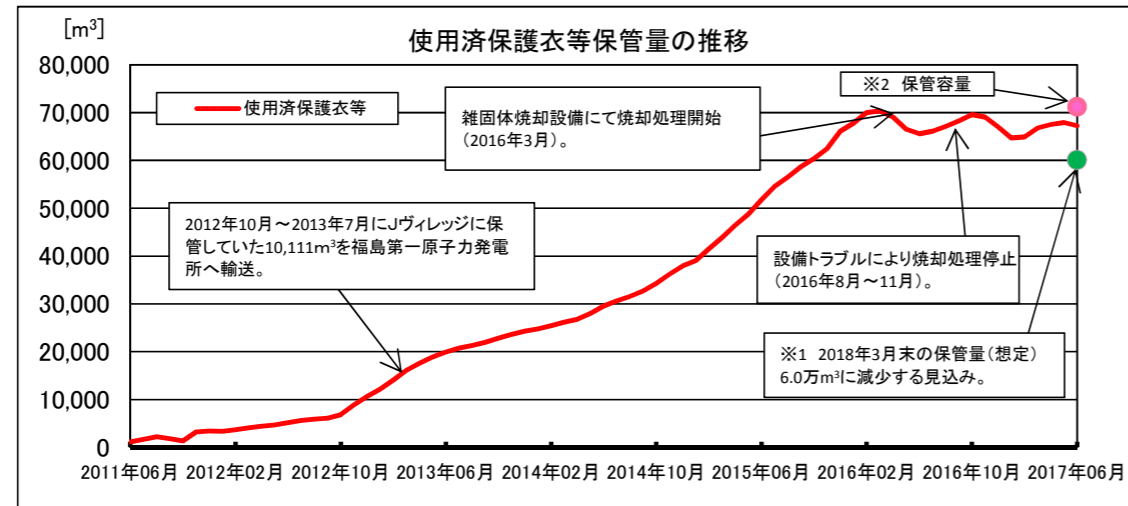
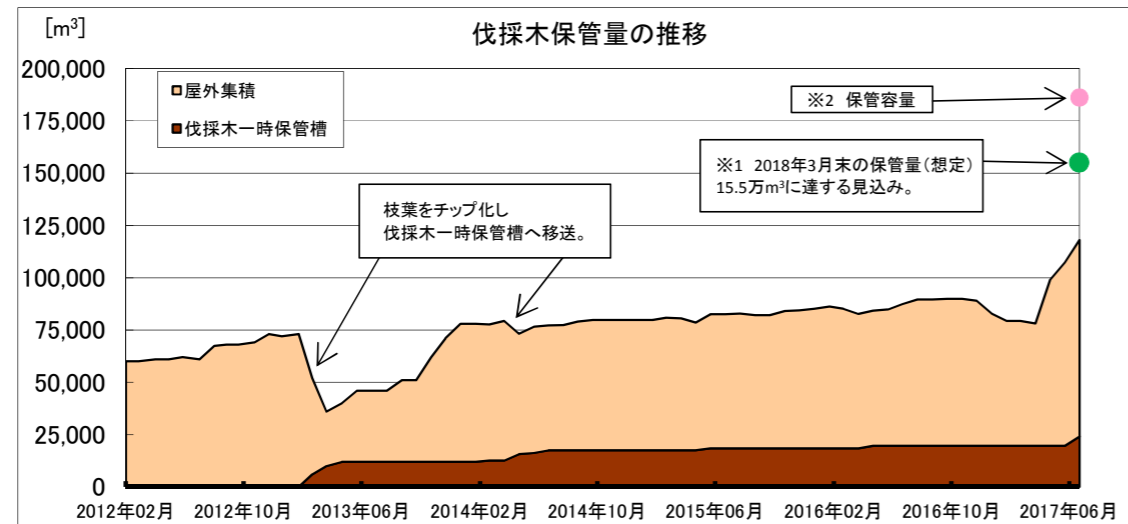
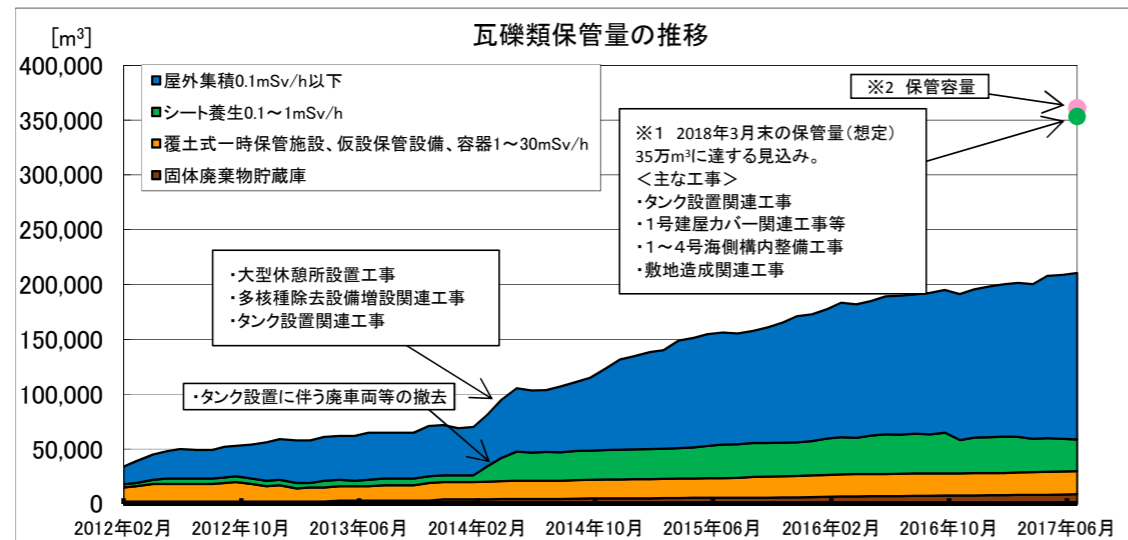
※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由：①タンク関連設置工事 ②車両解体工事 ③1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ④焼却対象物の受入 ⑤瓦礫を一時保管エリアXに移動
 ⑥一時保管エリアE1から瓦礫の受入 ⑦フェーシング工事 ⑧水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)の保管 ⑨敷地造成関連工事
 ⑩一時保管エリアHから伐採木の受入 ⑪伐採木を一時保管エリアGに移動 ⑫チップ化処理による枝葉の受入 ⑬焼却運転 ⑭使用済保護衣等の受入
 ※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2017.7.20時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2017.6.29)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済バケツ	758 本	0 本	3700 / 6368 (58%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)
		第二セシウム吸着装置使用済バケツ	190 本	+2 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,406 基	+20 基		
		高性能多核種除去設備使用済バケツ	73 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	9 塔	0 塔		
		モバイル式処理装置等使用済バケツ及びフィルタ類	192 本	+1 本		
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。
		濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,390 m ³	+23 m ³	9390 / 10700 (88%)



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.6.30時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2017年3月1日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、実施計画(2017年3月1日認可)の保管容量の運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2017.7.20時点)

